

経営比較分析表（令和3年度決算）

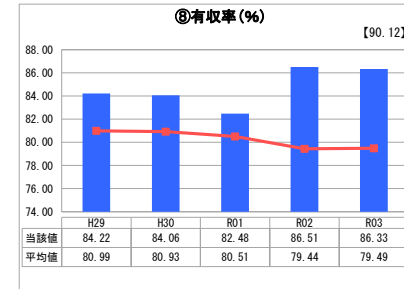
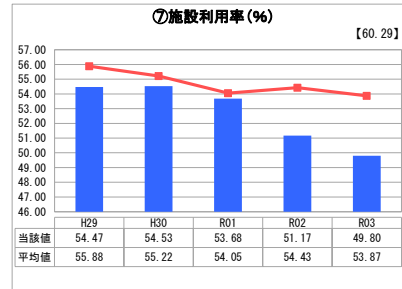
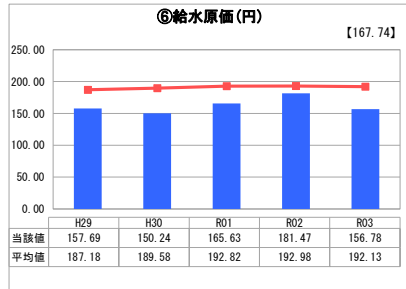
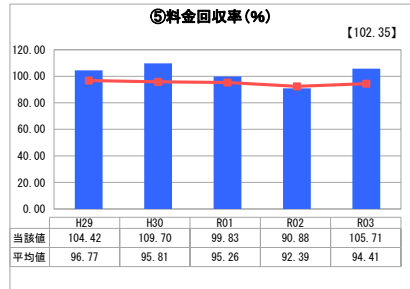
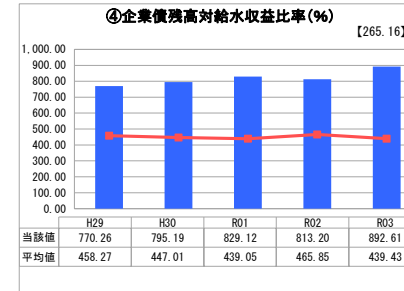
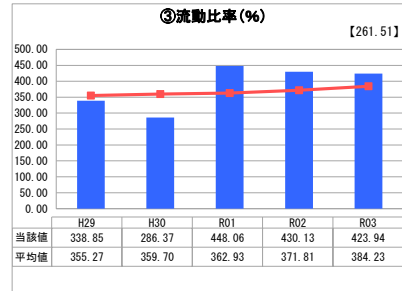
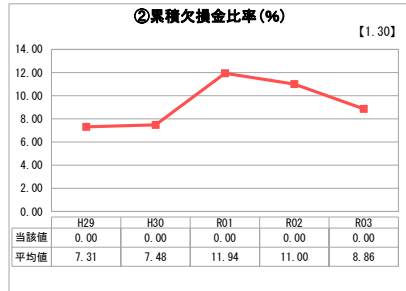
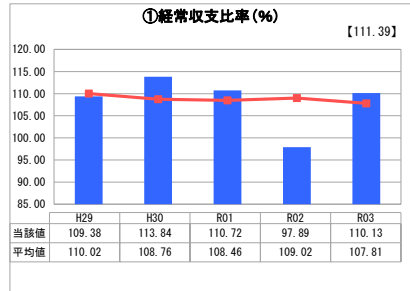
岡山県 矢掛町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	61.37	99.62	3,311	

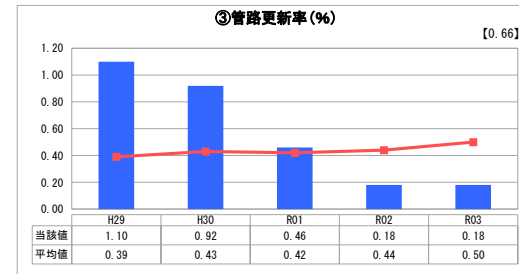
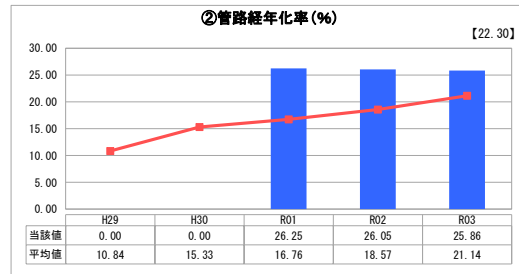
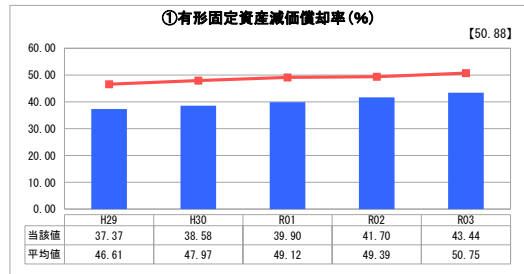
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,698	90.62	151.16
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
13,519	90.62	149.18

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率及び料金回収率は、100%を上回り、類似団体も上回った。しかしながら、経常収益は減少傾向にあり、経常費用の減価償却費は増加傾向にあるため、今後の比率の悪化が懸念される状況である。

②累積欠損比率は0%であるが、給水収益が減少傾向であり、維持管理費が増加傾向にあるため、今後は、状況をみながら料金の見直しを検討する必要がある。

③流動比率は、類似団体と同程度の水準を維持しており、短期債務に対する支払い能力は確保されている。

④企業債残高対給水収益比率は、類似団体と比較して高い水準にあり、上昇傾向にある。今後、老朽施設の大量更新が控えているが、財源を確保し企業債発行額の抑制に努める必要がある。

⑤給水原価は、類似団体と比較して低い水準を維持しているが、今後、減価償却費の増加に伴う増加が懸念される状況である。

⑦施設利用率は、類似団体より低い水準にあり、今後の人口減少に伴いますますの低下が懸念される状況にある。

⑧有収率は、漏水調査、計画的な石綿セメント管更新の成果により、H28年度以降は類似団体よりも高い水準を維持している。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、下水道工事や道路工事に合わせて老朽更新を進めてきたことから、類似団体と比較して低い水準にある。

②管路経年化率は、当該値に限り、正しくは、H29当該値「28.08」、H30当該値「26.72」である。水道事業開始から40年が経過し、類似団体と比較しても高い水準にあるが、下水道工事に合わせて老朽更新を行った結果、改善傾向にある。

③管路更新率は、H29年度の下水道の面整備完了に伴い近年は更新率が低下傾向にある。

全体総括

累積欠損金はなく、経常収支比率、料金回収率ともに100%超となっており、現状では概ね健全な経営状況といえる。

しかしながら、今後、人口減少に伴う給水収益の減少、老朽施設等の大量更新に伴う減価償却費の増加が見込まれており、長期的な視点での経営環境は非常に厳しい状況である。

今後は、平成28年度に策定した事業計画を適時見直ししながら、財源を確保しつつ計画的な施設更新を行うと同時に、効率的な事業経営を行っていく必要がある。